

発火事故防止のため

4月からリチウムイオン電池類の分別収集を始めます

私たちが普段使用する小型家電製品には、リチウムイオン電池類を使用した製品がたくさんあります。

リチウムイオン電池類がごみに混入した場合、運搬や処理の過程で圧縮・破碎され、ショート・発火し、発火事故に繋がるおそれがあります。

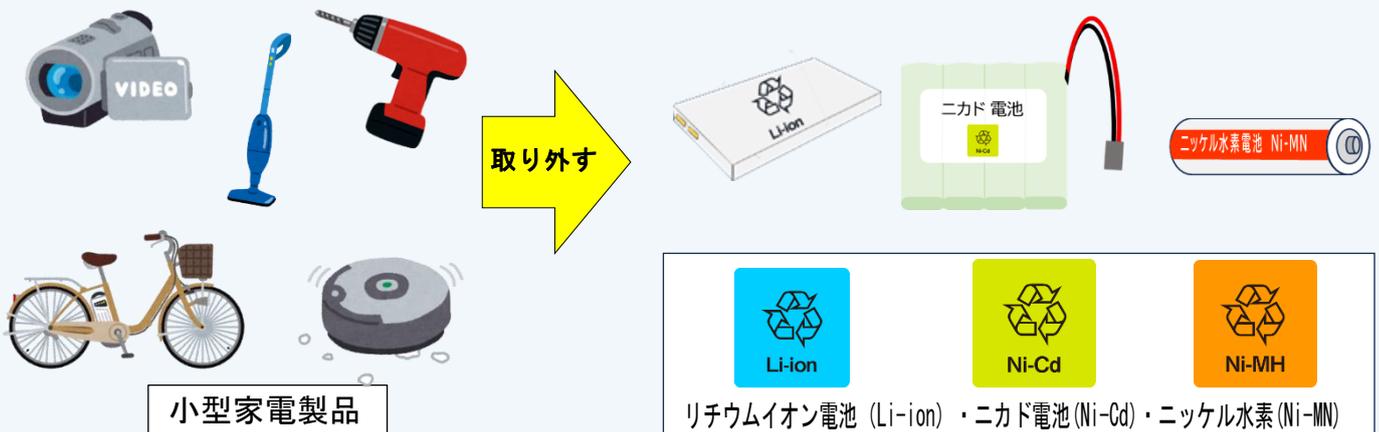
このような発火事故を未然に防ぐため、小型家電製品から取り外したリチウムイオン電池類やモバイルバッテリーの分別収集を4月から始めます。以下の手順を守り、リチウムイオン電池類をごみステーションに出してください。



分別収集するリチウムイオン電池類について

小型家電製品から取り外したリチウムイオン電池・ニカド電池・ニッケル水素電池及びモバイルバッテリーが分別収集対象です。（膨張、変形、水に濡れたリチウムイオン電池類も分別収集対象です。）

○リチウムイオン電池類（リチウムイオン電池・ニカド電池・ニッケル水素電池）



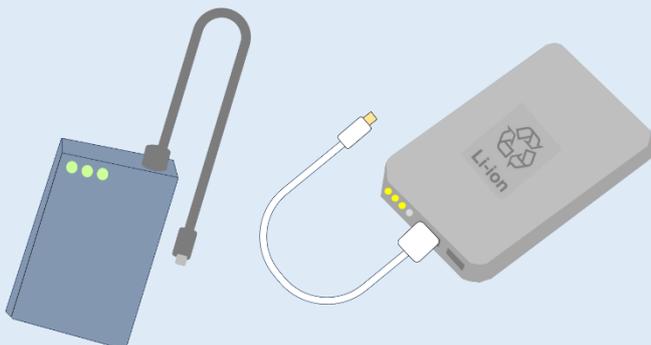
○リチウムイオン電池類は、充電することで繰り返し使用できる電池です。充電できる小型家電製品（例 ハンディ掃除機、ロボット掃除機、デジカメ、電動自転車、電動工具等）に多く使用されています。

○リチウムイオン電池類にはリサイクルマークが表記されています。

（製造年月日等によっては表記がない製品もありますが、表記がないリチウムイオン電池類も分別収集対象です。）

○小型家電製品からリチウムイオン電池類を取り外せるかどうかの可否は、必ず取扱説明書をご確認してください。

○モバイルバッテリー



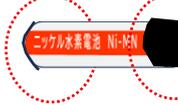
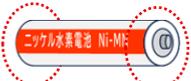
○膨張・変形・液漏れをしたリチウムイオン電池類



リチウムイオン電池類のごみステーションへの出し方

① 端子部分にテープを貼る

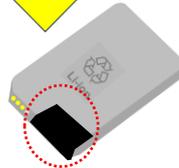
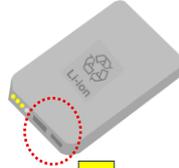
例 円筒型



例 パック型



例 モバイルバッテリー



○ リチウムイオン電池類・モバイルバッテリーの端子部分にテープを貼って絶縁する

② 他のごみとは別にレジ袋等に入れて、「リチウム」と書く



- 雨等の水が入らないようにしっかりと結ぶ
- 指定券を貼らなくてよい
- ★ スプレー缶・ライターを一緒に入れない

③ 「金属・ガラス・粗大ごみ」の日に出す

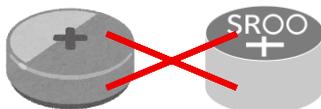


○ もやせないごみ「金属・ガラス・粗大ごみ」の日に出す

分別収集しないもの ごみステーションに出さないで



- ・ 鉛バッテリー (Pb バッテリー)
- ・ ポータブルバッテリー
- ※ 処分の際は、購入店・専門業者にご相談ください。



ボタン電池 (LR、SR、PR から始まる型番)

ホームセンター、眼鏡・補聴器販売店といった回収協力店に設置されたリサイクルボックスに出してください。



例 電子たばこ



例 電動かみそり



例 ハンディファン



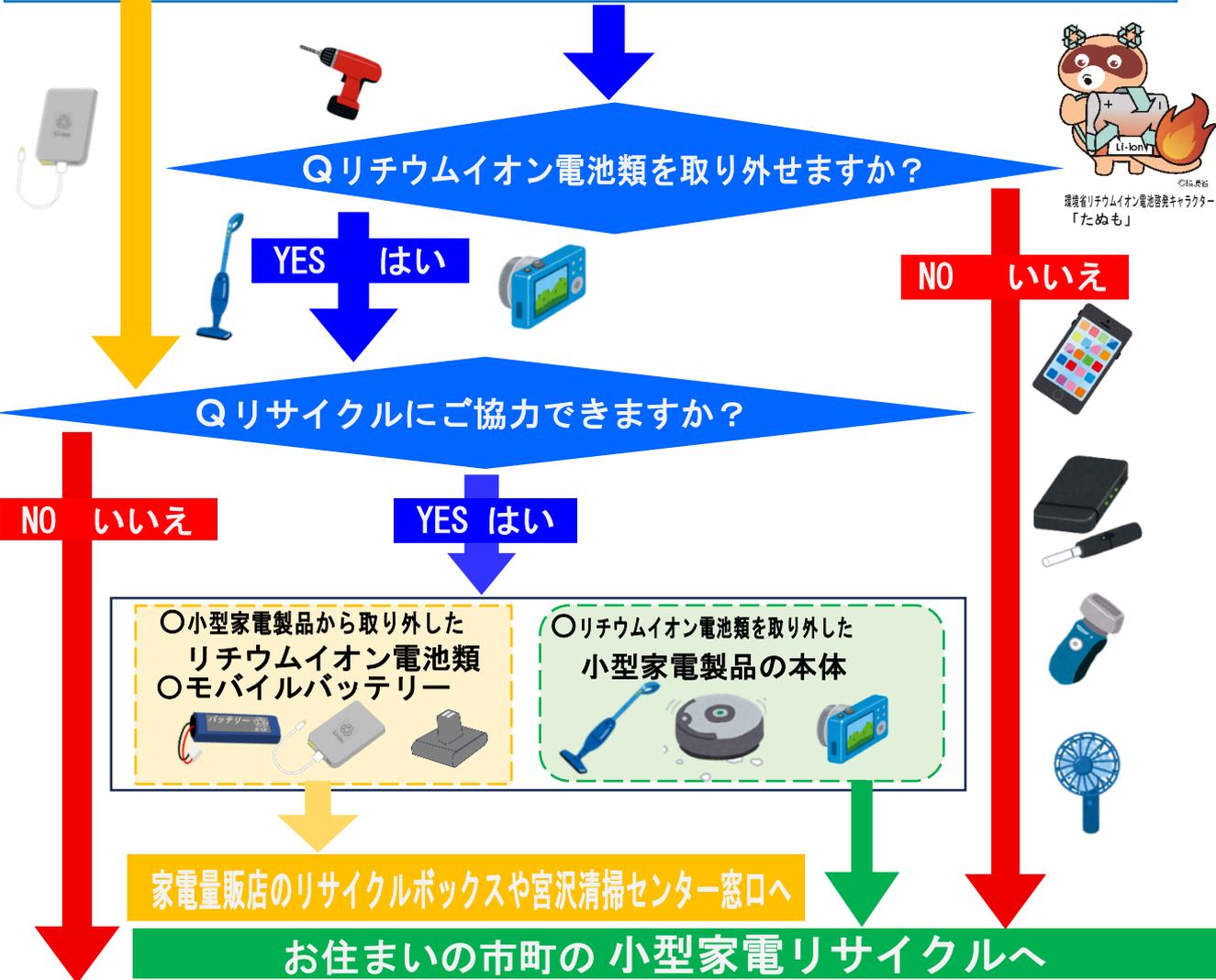
例 スマートフォン

リチウムイオン電池類の取外しができない小型家電製品

※ 取外しの可否は必ず製品説明書をご確認ください。

※ 処分の際は、お住まいの市町の小型家電リサイクルに出してください。

リチウムイオン電池類等の出し方チェック



① リチウムイオン電池類を取り外した小型家電製品の本体は
もやせないごみ（金属・ガラス・粗大ごみ）の日に出す

② 小型家電製品から取り外したリチウムイオン電池類・モバイルバッテリーは
 端子部分にテープを貼り絶縁し、「リチウム」と書いたレジ袋に入れて、
もやせないごみ（金属・ガラス・粗大ごみ）の日に出す